

令和6年度学校経営計画

東京都立杉並工科高等学校
校長 中里 真一

I 目指す学校像

令和6年度より学科改編により「IT・環境科」がスタートした。今年度は既存の機械科、電子科、理工環境科とIT・環境科4学科が併存する。新学科スタートの年であり高い目標をもって入学してきた生徒の進路希望が実現するよう、また2,3年生の進路実現に向けて指導し、社会が求める人材の育成に向けて取り組んでいく。

IT・環境科

(1) スクールミッション

Society5.0 社会の到来、SDGs の実現に向け、IT を駆使して、環境問題など社会の課題を解決に導く人を育成する。(様々な企業や会社の中枢でDX・GXを担う人を育てる。)

(2) スクールポリシー

① グラデュエーションポリシー

- ・ 目標とする大学へ進学するための学力を身につける。
- ・ 幅広い教養を身につけ、生涯にわたって学び続ける姿勢を育てる。
- ・ 電子工学、情報工学の基礎的知識および環境リテラシーを身につけ、より高度な学びに向かう姿勢を育てる。
- ・ Society5.0 社会における環境問題など社会の課題を解決に導く志を育てる。
- ・ 自他を思いやる心、仲間と協働してものを作りだす力を育てる。

② カリキュラムポリシー

- ・ IT、環境に関する教科から普通教科まで、幅広く学習できるカリキュラム編成
1・2年生は、必修科目を中心としたカリキュラムにより、基礎から応用までバランスの取れた学力を身につけさせます。3年生は、自由選択科目をおくカリキュラムにより、生徒一人一人の進路目標に必要な学力を身につけさせます。
- ・ 体験型・課題解決型の教科横断的な学習
ITや環境をテーマに探求的な学習活動を行うことにより、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決するために必要な、思考力・判断力・表現力を育み、他者と協働して課題を解決する力を身につけさせます。
- ・ 大学へ進学するためのプログラム
連携関係を結ぶ大学の特別講義やゼミへの参加などを行うことで、高校の学びの先の大学を意識させます。
英語検定2級、数学検定2級、ITパスポートに全員が合格することを目指し、放課後補習やオンライン教材による自学習を充実させます。
外部模擬試験で成績の定点観測を行い、授業で弱点教科を改善し、得意教科の伸長を目指します。

③ アドミッションポリシー (求める生徒像)

- ・ ITや環境に関心があり、将来は大学に進学する意思を持って積極的に授業に取り組む生徒
- ・ 中学校で学ぶ基礎学力を概ね身につけている(目安として評定平均3.5以上、数学と英語は4.0以上)生徒
- ・ 学校行事、部活動、生徒会活動等に積極的に参加し、自他を思いやり、仲間と協働することができる生徒

機械科、電子科、理工環境科

- (1) スクールミッション
豊かな教養を備えた地球環境に配慮できる技術者を育てる
- (2) スクールポリシー
 - ① グラデュエーションポリシー
 - ・ 知識や技術の基礎・基本を身に付け、自己実現のために活用できる。
 - ・ 適切なコミュニケーション能力によって他者を理解し、様々な集団の中で協働できる。
 - ・ 社会の変化を捉える情報を収集できて、それを社会人としての自己管理に活用できる。
 - ② カリキュラムポリシー
 - ・ 専門教科と普通教科を同時に学ぶ。
 - ・ 教科横断型の体験型学習の充実。
 - ・ 資格取得に向けた講習等の実施
 - ③ アドミッションポリシー
 - ・ 未来のスペシャリストを目指す生徒。
 - ・ 生涯にわたって学び続ける意思を持つ生徒。

II 中期的な目標とその達成に向けた方策

1. 中期的な目標

希望する進路実現に向けて探究心を養い幅広い知識と教養を身につけさせ、将来に渡り学び続ける姿勢を持つ人材を育成する。

基礎的知識・技術、実践的スキル・態度が身に付き、希望する進路を実現できる学校を目指し、広い視野でものごとを考え社会に貢献できる、ものづくりの心を持った人材を育成する。

2. 達成のための方策

- ① 大学進学に向けた基礎学力の指導を確実に行う。
- ② 探究心を養うため探究活動を展開し、「思考力、判断力、表現力」を育成する。
- ③ 生徒の学習意欲を喚起する授業を展開する。
- ④ 学力スタンダード、都立専門高校技能スタンダードに基づき、基礎的・基本的な知識・技術を定着させ、進路希望に応じたきめ細かな学習指導を徹底する。
- ⑤ DX推進校としてITスキルの習得を目指した授業、課題解決型学習の充実を図る。
- ⑥ キャリア教育を充実させ、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けさせる。
- ⑦ 特別活動を充実させ、生徒の主体性や社会性を育成し、帰属意識を醸成する。
- ⑧ 部活動を充実させ、心身の健康・体力の向上および技術技能の向上を目指しながら、思考力・判断力・表現力を磨き、人間力を育成する。
- ⑨ 全ての教育活動において生活指導を徹底し、基本的な生活習慣、ルールやマナー等の規範意識を身に付けさせる。
- ⑩ 保護者をはじめ外部機関と連携して、学校保健活動を充実させ、生徒の健康づくり活動を推進するとともに、生命尊重（自殺防止）や安全の確保に係る指導を徹底する。
- ⑪ 教育相談と「心の触れ合い」を重視し、親身で粘り強い指導を行う。
- ⑫ 地域連携を推進し、本校の特色ある教育を小・中学校、地域に積極的に広報する。
- ⑬ 学校管理運営規定に基づき組織的に学校運営を行い、教職員が一致協力し教育目標の実現を目指す。

III 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

1. 今年度における取組目標

IT環境科の生徒に対して大学進学に向けた意識の醸成とともに基礎学力と探究心の育成を図る。また2、3年の教育の質を落とすことなく生徒の育成を図り進路実現を目指す。

DX推進校として環境整備を図るとともにITスキルや知識習得のための授業の充実を図る。

2. 達成に向けた具体的方策

(1) 学習指導

- ① 探究心を養うために教科横断的な授業の実施や学校行事等で工夫し探究心を育成する。
- ② 自習室の整備や、長期休業中の補習・講習など学習環境の整備を確実に行き生徒の学習意欲を醸成するとともに高い目標に向けた基礎学力を身に付けさせる。
- ③ グランドデザインに基づいた各教科シラバスを作成し、「AL的手法」「ループリックを活用した評価」を行い、指導と評価が一体化した授業を実践する。
- ④ PBLを授業に積極的に導入し、生徒の探究する力、学び続ける力を育成する。そして総合的な探究の時間の代替である課題研究を本校の教育活動の集大成として位置付け指導する。
- ⑤ PBLを進めるため、他校種・企業との連携や外部講師の招聘などを積極的に行う。
- ⑥ 一人一台端末を有効に活用し、効果的・効率的な授業を展開する。
- ⑦ 杉工寺子屋を組織的に行い基礎学力定着のため補習補講を実施し、中学既習事項を含めた基礎的な知識の定着を図る。
- ⑧ 生徒にとって有用な資格・検定を整理し、取得を目指す取組みを推進する。

(2) 進路指導

- ① 「進路の手引き」・「進学の手引き」を使い3年間を見通した系統的な進路指導を行う。
- ② 進路調査や模擬試験等を行い、生徒の能力や適性を把握し、一人一人の適性に考慮したきめ細かな進路指導を行う。
- ③ オープンキャンパス等を活用し進学意識を醸成し、学習意欲を高めていく。
- ④ インターンシップを2年生で実施し、職業観を形成させ進路選択に結び付ける。
- ⑤ 専門教科における実習や教科「人間と社会」体験活動、そして学校行事、部活動等を通じて、自己理解・他者理解を深め、思いやりの心、社会性を育成し、自己実現を目指す。

(3) 生活指導

- ① 朝の立ち番指導を行い、時間を意識して行動すること、身だしなみや挨拶に関わる指導などを徹底し、礼儀や規律規範に関わる意識を高める。
- ② 保護者との連携を図り、遅刻防止を含めた基本的な生活習慣の改善に向けた指導を行う。
- ③ 自転車乗車時のヘルメットの着用を徹底させる。
- ④ 「いじめ防止基本方針」等に基づき、いじめや暴力は絶対にしない、許さない指導を徹底するとともに、学校いじめ対策委員会を定期的に開催し、いじめの未然防止に向けた取組や早期発見のための情報共有の工夫を図る。
- ⑤ 授業やセーフティ教室等において、ネットリテラシー、情報モラルに関する指導を徹底する。

(4) 特別活動・部活動指導

- ① 部活動・特別活動および体育の授業等において、心身の健康、体力の向上を目指す。
- ② 部活動指導方針に基づき、生徒が主体的に取り組み活躍する機会を作り出す。
- ③ 行事や集会等における校歌斉唱、生徒による挨拶活動、地域への貢献や奉仕活動等など、本校の伝統的な取組を一層充実させ、生徒が誇りをもてる学校づくりを推進する。

(5) 健康・安全・防災

- ① スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実、学校医等と連携した健康教育の推進、保健委員会の活動の活性化などを図り、自殺対策に資する教育の推進、発達障害等の特別な支援が必要な生徒の心の健康の増進や学ぶ意欲の向上を図る。
- ② 感染症対策を施し環境整備に努め、清掃活動を徹底し、清潔で明るい学習環境をつくる。
- ③ 特別教育支援コーディネータを中心とした教育相談体制を充実させ、特別な支援を必要とする生徒への支援体制を構築し中途退学者の減少を目指す。

(6) 募集・広報活動

- ① 広報用リーフレット・動画の作成、中学校および学習塾訪問。見学会・説明会・体験授業・体験入部、の実施。HPやSNSのさらなる活性化。
- ② 施設設備の改修、備品の購入
- ③ 入試方法の見直し検討

(7) 学校経営・組織体制

- ① 高大連携を進め大学等の視察・見学を活発に行うと共に有識者の招聘を行う。
- ② デジタル技術を活用しDXを進め業務の質を高めるとともに、ICT環境を最大限活用して生徒の学びを保障する。
- ③ 日常の業務を通じて教育公務員としてのあり方を自覚するとともに、研修会を実施し教員相互でミスが起こらない職場風土をつくり、服務事故防止に努める。
- ④ 体罰・暴力行為・暴言等の根絶を図る。体罰に関する認識を教職員・生徒・保護者が共通理解し、体罰はしない、させない、許さない校内風土の醸成を図る。
- ⑤ 管理職は所属職員のライフワークバランスに気を配り、業務内容の見直しを進め、勤務時間の削減を目指す。職員会議の上限時間を1時間以内とする。
- ⑥ 防災体制を整備し、非常時に備えるとともに、関係機関や地域と連携して実践的な防災教育を推進する。また、各種防災訓練を充実させ、生徒の防災意識の向上を図るとともに、自助・共助のための実践的な知識・技能の習得を目指す。

(8) その他 (IT 環境科の重点)

- 各教科1年生指導の重点、年間授業計画を策定
 - ・ 国語・社会・数学・理科・英語は、大学進学を想定した学力を伸ばす授業。
 - ・ 体育・芸術・家庭・IT 環境は、実習や実験を通じて好きなことをもっと好きになって、学ぶ意欲を育てる授業。
 - ・ 普通科目と IT 環境科目を同時に学べるカリキュラムの優位性を活かした教科横断的な授業。

3. 重点目標と方策 (数値目標)

(1) 学習指導	① 生徒の満足度(授業内容、学習環境等) ② 授業時間外での1時間以上/日の学習時間(朝、放課後、補習補講含む) ③ 資格指導等の充実	80%以上 1年生:50%以上 2,3年生:10%以上 合格者数:延べ200名以上
(2) 進路指導	① 進路実現に向けた指導 ② キャリア教育の充実	進路内定100% 1年生:オープンキャンパス等への参加 2年生:インターンシップ
(3) 生活指導・健康安全	① 遅刻者数 ② ヘルメットの着用 ③ 規律規範意識の徹底 ④ 教育相談の充実 ⑤ 中途退学者数の減少	前年度以下 100% 授業規律の指導の徹底 校内研修 2回以上 10名以下
(4) 特別活動・部活動等	① 学校行事等の満足度 ② 部活動加入率の向上 ③ 地域連携事業等の充実	80%以上 70%以上 延べ5回以上
(5) 広報活動	① 学校説明会、見学会の参加者 ② HP、Xの更新回数 ③ 中学校訪問等 ④ 外部での学校説明会等の参加	延べ600名以上 300回以上 各自3校以上